

平成 30 年 2 月

魚津市定例記者会見



日時：平成 30 年 2 月 1 日（木） 午後 1 時 30 分～

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞社、朝日新聞社
NHK、KNB、チューリップテレビ、NICE TV

市当局出席者：市長、副市長、教育長、企画総務部長、民生部長、産業建設部長
企画政策課長

1. 市長からの発表事項

(1) 「魚津市小中学校通学安全プラン」の策定について

- ・小学校の統合に伴う通学路の変更や、高齢化等による見守り隊員の減少など、子供たち通学環境の変化のなかで、子供たちの通学における安全確保を一層推進するために、平成 30 年 1 月「魚津市小中学校通学安全プラン」を策定した。より多くの市民や企業の皆さんと協働で、子供の安全を守っていこうというプランである。

(説明内容は別添プレスリリースのとおり)

(2) Yahoo! ショッピングサイト内の「おもてなしギフトショップ」に魚津の店が本日オープンします

- ・国の地方創生推進交付金の採択を受けた「地域商社による魚津の食ブランディング事業」の取組みの一環として、Yahoo! ショッピングサイト内の「おもてなしギフトショップ」の魚津の店が本日オープンした。魚津市の場合、特色のある良質な産品は色々あるが、生産量が少ないために既存の流通ルートになかなか乗りにくい状況がある。そこで魚津の産品を気に入って購入くださる方のマーケティングをしっかりと行い、その方にダイレクトに届けたいという思いが地域商社事業を構想するときの背景にある。今回の出店は、新たな販路拡大だけでなく、そこから得られるマーケティングデータを基に、今後の地域商社事業の展開を検討していく狙いがある。

(説明内容は別添プレスリリースのとおり)

(3) UOZUまちづくりセミナーの開催について

- ・空き家の空き店舗といった遊休資産を再生し、エリアに新たな価値を生み出す「リノベーションまちづくり」をテーマとしたセミナーを開催する。

(説明内容は別添プレスリリースのとおり)

(4) 魚津まちづくりフォーラム 2018 の開催について

- ・ 鹿児島県鹿屋市柳谷地区（通称やねだん）の公民館長 豊重哲郎氏を講師に基調講演を開催する。また、2部では13地域振興会の活動発表を行う。13地域すべての地域振興会の活動発表が行われるのは今回が初めて。このフォーラムを住民主体のまちづくりの気運醸成に繋げていければと考えている。
(説明内容は別添プレスリリースのとおり)

2. 教育委員会及び各部長からの説明事項

〈教育長〉

- ・ 第66回市民体育大会 第57回スキー競技会
- ・ 学びの森からの早春音楽だより・池辺晋一郎のゆかいなクラシック講座 vol. 16
常識を超えたピアノ ～あなたの想像を絶するピアノの世界～
(地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰を受けられた、学びの森音楽祭実行委員会が主催)
- ・ 埋没林博物館カフェ（仮称）オリジナルメニュー発表会
- ・ 村木小学校として最後の蒸気機関車清掃活動（3/1）

〈企画総務部長〉

- ・ 男女共同参画事業「家族でつくるハートフルランチ」
- ・ 第2回うおづビジネスプランコンテスト 最終審査会
(応募総数35件から選りすぐられた8件のプランを発表し、最終審査を行う)
- ・ 魚津市防災会議
(今回は、新しい津波ハザードマップの件を中心に議論していただく)

〈産業建設部長〉

- ・ 映画「羊の木」全国公開
- ・ 第12回魚津「かきの陣」
- ・ 特定空家等の認定を行った空家について、略式代執行による解体工事実施
(魚津市では初)
- ・ 20歳の挑戦 東洋大学による最終報告会
- ・ 2018 ポリテックビジョン in 新川
- ・ 在来線等対策連絡協議会
『講演会』「選ばれ続ける地域とは～地域の自立と持続のために～」
- ・ 魚津市合同企業説明会の出展企業募集

3. 質疑応答の内容

「魚津市小中学校通学安全プラン」

《記者からの質問》

見守り隊について、計画では見守り隊活動の連携調整などはあるが、そもそもとして減り続けている見守り隊員を増やす取組は考えているのか。

《回答》（市長）

見守り隊員は、この7～8年の間で約1200名から約800名程度に減少している。背景には、定年になっても定年延長や再雇用などで働かなければならない状況があり、見守り活動に参加しにくくなっていることがあると思われる。従来のように地区のなかで特定の役割を持った方に、決まった役割として出ていただくさいと願いますこと自体が難しくなっている。これまでのようにしっかり関わっていただけの方は維持しながら、負担が軽いなかで関わってもらいやり方がないかを主眼に今回検討をした。見守り隊そのものを復活させて増やしていくという取組は現実として難しい。そのような背景のなかで、少しでも関わり方を軽くしながら関わってもらい、裾野を広げるという観点で検討した結果のものであると理解していただきたいと思う。

《記者からの質問》

見守り隊は、今も児童の登下校時に交差点などに大人の方が立っているのか。

《回答》（教育長）

形態は必ずしも同じではない。信号のある交差点などに立っていただいている方も見守り隊であるし、集団登校の列と一緒に歩いていく形をとっているところもある。

《記者からの質問》

資料で、見守り活動の推進の「取り組み」に（新）とあるが、これまでも見守り活動があったが、それを組み替えるという意味であるか。

《回答》（教育長）

見守り方を決めつけず、見守りの在り方を拡大して皆さんに負担がかからないような形で参画していただくということで、いくつかに分けて計画に記載してある。

《記者からの質問》

見守り方の内容もプランとして策定されたのか。

《回答》（教育長）

このような方針で地域の方をお願いしていこうと決めたところであり、具体的なことはこれからである。

《回答》（市長）

交差点に立たなければ見守り隊ではない等の意識を変える意味がこの計画にはある。それぞれの立場や生活にあった関わり方をどのように広げるかが今回のプランのなかで大きな考え方としてはある。

《記者からの質問》

先程、1,200名が800名になったとあったが、詳しく聞かせてほしい。

《回答》（教育長）

見守り隊は保険などの関係があり登録制をとっている。平成21年度は1,225名の登録があったが平成29年度には797名まで減少してきている。小学校統合すれば状況も変わってくるので、単純に見守り隊の数だけで比較するということはできないが、各学校に聞くと確実に協力していただける方の数は減ってきている。では、こういった形で、少しでも多くの方に子供たちに関わっていただけるかを考えた時に、少し柔軟な形を考えたということである。

《記者からの質問》

随分沢山いらっしゃるのだなと驚いた。平成21年頃であればまだ12校あったと思うが、12校で1,200名であれば一校あたり100名である。みんなが毎日出られるわけではないだろうから、100名で交代に出ていたのが、それ以下になると大変になってきたということであるか。

《回答》（教育長）

児童数も減少しているが、見守り隊員も減少してきた。このまま放置しておく、統合したからもういいだろうということで見守り隊員がいなくなってしまう危機感もある。

《記者からの質問》

今後、また新しい統合校ができて学校数が減る。見守り隊の数は増やすではなく、維持すると言われたが、これくらいの登録数は維持していきたいという目標数は設定しているのか。

《回答》（教育長）

いまのところ目標数は定めていないが、登下校見守り活動推進会議（仮称）等のなかで、学校と地域の方と相談しながら、どの程度のこういった形の見守りをしていくかを話し合っていてやっていきたいと考えている。スクールバスなどで登下校の形も変わってくるので、これから地域の皆さんと話し合いながら、こういった形で協力してもらうかを具体化していくのは平成30年度からということになる。

《記者からの質問》

よつば小学校は平成30年4月から開校して新しい状況が生まれるので、それに間に合わせてなにかやらなくてもいいのか。

《回答》（教育長）

よつば小学校の通学路関係については、今年度中に準備会を開き各部会のなかで話し合っていて決めている。見守り活動についても、暫定的にやっていきながら、それを改善していく予定になっている。

《回答》（市長）

議論のなかでもあったのだが、登校については比較的対応しやすいが、下校についてなかなか難しい面がある。計画のなかでは「児童と関係機関との合同下校」の

取組を組み入れ、よつば小学校は平成 30 年度に行う予定としている。実際の児童の通学にあわせて検証していかなければならない。実情をしっかりと踏まえて安全対策を考えていく。

「映画『羊の木』全国公開について」

《記者からの質問》

映画「羊の木」の全国公開が始まるが、それについて一言お願いしたい

《回答》（市長）

この映画は魚津の至る所でロケをしていただいているので、多くの方にこの映画を見ていただき魚津のことを知っていただくきっかけになればと思っている。ただ、映画のテーマが、いわゆるご当地映画と違って社会性のあるテーマである。魚津を単に知っていただくというよりは、こういった時代背景や地方の環境のなかで人とどうかかわるのかというテーマを見ていただきたいと思っている。それが、いまを生きる皆さんにどう映るかをしっかり受け止めてもらいたいと思っている。そのうえで、繰り返しになるが、魚津の至る場所や人がたくさん出てくるので、地元の人を始め、富山県内の人など多くの人にこの映画を見ていただきたいと思っている。考えるきっかけにしていきたいと思う。

「除雪費について」

《記者からの質問》

除雪費については、専決になったのか。

《回答》（産業経済部長）

除雪費の専決については 1 月 26 日付で発表させていただいている。専決額については 1 億 7 千万円である。

《記者からの質問》

久しぶりに雪が多い年であり、自分は富山市に住んでいるが、道がガタガタで除雪のオペレーションが下手になったのではという声が沢山聞こえてくる。魚津市において苦情などがあったりするか。

《回答》（産業建設部長）

富山市のほうでは圧雪が緩んで路面状態が悪いということは報道等で流れていた。魚津市においても、圧雪が緩み、その上を車が走ると、どうしても路面に凹凸が激しくできてしまう。坂道あたりでバンパーを擦るなどの苦情も来ている。幹線については、除雪だけでなく排雪作業も先週の土日に集中的に行った。その後も平日の日中に、路肩に堆雪して幅が狭くなっている幹線道路を、規制をかけながら拡幅作業を行った。

《記者からの質問》

通学路安全プランにも、通学路の合同点検などで必要に応じて冬期間も実施とあるが、今年の冬のように路肩に雪が積もって歩道も歩けない、車道も危ないなどとなると、当然子供たちの安全にも関わってくることであると思うのでそのあたりも検証していただきたいと思う。

「おもてなしギフトショップについて」

《記者からの質問》

おもてなしギフトショップについて3点質問がある。

1点目は、この事業は交付金を活用していく事業であるが、期間に区切りがあるものなのか、それとも当面継続していく事業なのか。

2点目は、先程の市長の話ではデータを取ることが大きな目的のひとつだとのことだが、どのくらいの期間で、状況整理、データ整理をし、地域商社への次のステップにむけた節目をみているのか。

3点目は、インターネット上の販売というのがこれまでもいろいろなところがやっていたと思うが、今回、何故Yahoo!という大きなところと組んでみようと思われたのか。それは地域商社の今後の展開とつながっているのか。

《回答》（企画政策課長）

事業としては年度単位で区切っているが、継続して行っていく。

《回答》（市長）

以前、地域商社事業について5年間の取組を行うこととお話した。5年間での目標は、形態はまだはっきりしないが、魚津の地区産品をトータルで売り込んでいけるような地域商社の設立である。そのためのファーストステップが、今回の「おもてなしギフトショップ」への参加である。独自で立ち上げるのは非常に大変であるため、横須賀市が既に行っているものを利用しようと考えた。商工会議所単位で横須賀市とYahoo!が組んでいたものが既にあったということが非常に大きい理由である。それを活用させてもらおうということで、その結果、Yahoo!でという話が出てきている。期間については、まだ決めてはいないが、1～2年は少なくとも必要ではないかと思っている。これからの展開で決めていくということになる。

「新年度予算案について」

《記者からの質問》

新年度予算案の発表はいつになるのか。

《回答》（企画総務部長）

2月20日の13時30分に記者発表の予定である。